

あなたのネコは 痛がっていませんか？



ネコはよく関節炎や泌尿器系の病気、その他様々な問題によって痛みを抱えています。しかし、ネコは本能的に自分の痛みを隠すため、あなたのペットが苦しんでいるか見分けるのは困難です。ネコの痛みを治療して快適な生活を送らせてあげる方法はいくつもあります。かかりつけの獣医師があなたのネコが痛みを苦しんでいるかを判断できるように、ぜひ下記のチェックリストを活用してください。

飼い主氏名: _____

動物名: _____

あなたのネコに当てはまるもの全てにチェックマークを入れてください。

- 流し台や家具にジャンプしなくなる(頻度の減少)
- 流し台や家具にジャンプ(昇降)することが困難になる(落下、またはぎこちない)
- 階段の昇降が困難または避ける
- 遊びたがらない
- 落ち着きがない、または快適な体位を探すのが困難になる
- 触られた時、または運動時に声を出す(ゴロゴロと喉を鳴らす、またはシャーッと威嚇する)
- 食欲が減退する
- 人や他のどうぶつと交流しなくなる(隠れる、または撫でられる、ブラッシング、抱え込まれる、持ち上げられることに抵抗する)
- 身体の一部を過剰に舐める、噛む、または引っ掻く
- 普段とは違う場所、または体位での睡眠する
- 近付いた際、または触った際の普段とは異なる攻撃性(噛みつき、威嚇、または耳を折りたたむ)
- 目つきが変化する(凝視する、瞳孔散大、うつろな目、または目を細める)
- 猫トイレの使わなくなる、または出入りが困難になる
- 毛づくろいを完全に(特定の部位のみ)しなくなる
- その他 _____

この情報に質問がありましたらIVAPMまでお問い合わせください。
IVAPM@navc.com

どうぶつの疼痛管理についてより詳しく知りたいかたは
IVAPM.orgまで。

あなたのかかりつけ病院が国際獣医疼痛管理協会 (International Veterinary Academy of Pain Management - IVAPM) のメンバーであることをご存知でしたか? IVAPMは、どうぶつが痛みのない生活を送れることを第一に考えている国際的な機関です。

訳: 渡邊亮太



IVAPM
International Veterinary Academy of Pain Management

IVAPM.org